

資料

平成28年の福岡県感染症発生動向調査におけるウイルス検出状況

芦塚由紀・中村麻子・吉富秀亮・小林孝行・梶原淳睦

平成28年に感染症発生動向調査事業において採取された検体は、9疾病526件であった。疾病別の検体数はインフルエンザが最も多く、次いで感染性胃腸炎が多かった。採取された526件のうち、ウイルスが検出された検体は321件であった。インフルエンザの検体からはインフルエンザウイルスA/H1pdm09亜型が、感染性胃腸炎の検体からはノロウイルスGII.4及びGII.6が多く検出された。

[キーワード：感染症発生動向調査、インフルエンザウイルス、ノロウイルス]

1 はじめに

福岡県における感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法）に基づき「感染症発生動向調査事業実施要綱」に従い実施されている。当所が担当する定点医療機関は、インフルエンザ定点が3定点、小児科定点が7定点、眼科定点が1定点、基幹定点が11定点である。当所はこれらの定点医療機関から搬入された検体についてウイルス検査を行っている。今回は平成28年のウイルス検出状況について概要を報告する。

2 検体及び病原体の分離・検出方法

平成28年に福岡県（福岡市及び北九州市を除く）で採取された検体は9疾病526件であり、検体数は平成27年の490件と比べて増加した。

疾病別及び検体種別検体数を表1に示す。平成28年、27年のいずれも疾病別の検体数はインフルエンザが最も多く、次いで感染性胃腸炎が多かった。検体種別では咽頭ぬぐい液が最も多く、次いで糞便が多かった。平成28年は27年と比べて、手足口病の検体は減少し、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎の検体が増加した。

病原体検出方法は主に国立感染症研究所の病原体検出マニュアルに準拠し、各種細胞(FL, HEp-2, MDCK, RD18s, RDA, VeroE6, A549等)を用いたウイルス分離及び各種ウイルスを対象としたPCR法による特異遺伝子の検出により行った。

3 疾病別病原体検出状況

平成28年に採取された526件について、ウイルス検出を行った結果を表2に示す。ウイルスが検出された検体は321件であった。このうち、複数のウイルスが検出された検体は11件であった。

福岡県保健環境研究所 (〒818-0315 太宰府市大字向佐野 39)

表1 疾病別及び検体種別検体数

疾病名	平成27年 検体数	平成28年						
		検体数	検体種別					
			FC	NP	SF	ES	UR	EX
インフルエンザ	190	195		194				1
咽頭結膜熱	43	65	4	59		1	1	
感染性胃腸炎	124	151	150	1				
手足口病	81	33	2	28				3
ヘルパンギーナ	25	36		36				
流行性耳下腺炎	3	3		2				1
急性脳炎	0	0						
無菌性髄膜炎	11	22		2	19			1
流行性角結膜炎	3	4				4		
その他の疾患	10	17	2	12	3			
計	490	526	158	334	22	5	1	6

\*FC: 糞便, NP: 咽頭ぬぐい液, SF: 髄液, ES: 結膜ぬぐい液, UR: 尿, EX: 水疱内容液

インフルエンザはA/H1pdm09亜型が92件、A/H3亜型が43件、B/ビクトリア系統が19件、B/山形系統が10件、B型(亜型不明)が4件、A型(亜型不明)が3件検出され、平成28年1月-3月はA/H1pdm09亜型が、10-12月はA/H3型が主に検出され、流行亜型が変化した。

感染性胃腸炎は、ノロウイルス(NV)GII.4が16件(混合感染も含む)と最も多く検出され、次いで、NVGII.6が13件(混合感染も含む)検出された。手足口病は、前年と同様にコクサッキーウイルスA(CA)6型が12件と最も多く、次いでCA10型が3件検出された。ヘルパンギーナは、CA4型、CA10型がそれぞれ7件検出され、その他コクサッキーウイルスB(CB)5型、CA5型等が検出された。無菌性髄膜炎は、前年はエコーウイルス18型が検出されたが、本年はCB5型が多く、4件検出された。流行性角結膜炎は、アデノウイルス54型が2件検出された。

文献

福岡県結核・感染症発生動向調査事業資料集平成28年、

平成 29 年 3 月.

表 2 平成 28 年における福岡県\*の感染症発生动向調査結果

疾病名	採取月	検出ウイルス	検出数	(検体種**検出数)
インフルエンザ	1~5, 8~12月	インフルエンザウイルスA/H1pdm09型	92 件	(NP91,EX1)
		インフルエンザウイルスA/H3型	43 件	(NP43)
		インフルエンザウイルスB/ビクトリア系統	19 件	(NP19)
		インフルエンザウイルスB/山形系統	10 件	(NP10)
		インフルエンザウイルスB型	4 件	(NP4)
		インフルエンザウイルスA型	3 件	(NP3)
		インフルエンザウイルスA/H1pdm09型+B/山形系統	1 件	(NP1)
咽頭結膜熱	1~12月	アデノウイルス3型	22 件	(NP20,FC1,ES1)
		アデノウイルス2型	7 件	(NP7)
		コクサッキーウイルスB5型	2 件	(NP2)
		アデノウイルス4型	1 件	(NP1)
		コクサッキーウイルスA2型	1 件	(NP1)
		コクサッキーウイルスA4型	1 件	(NP1)
		コクサッキーウイルスB4型	1 件	(NP1)
		アデノウイルス1型+エコーウイルス9型	1 件	(NP1)
		アデノウイルス2型+コクサッキーウイルスA4型	1 件	(NP1)
		アデノウイルス3型+コクサッキーウイルスA4型	1 件	(FC1)
感染性胃腸炎	1~12月	ノロウイルスG II.4	13 件	(FC13)
		ノロウイルスG II.6	11 件	(FC11)
		アデノウイルス41型	6 件	(FC6)
		コクサッキーウイルスA4型	6 件	(FC6)
		コクサッキーウイルスB5型	5 件	(FC5)
		ノロウイルスG II.2	2 件	(FC2)
		サボウイルス	2 件	(FC2)
		C群ロタウイルス	1 件	(FC1)
		アデノウイルス1型	1 件	(FC1)
		アデノウイルス2型	1 件	(FC1)
		アデノウイルス3型	1 件	(FC1)
		アデノウイルス31型	1 件	(FC1)
		コクサッキーウイルスA2型	1 件	(FC1)
		エコーウイルス9型	1 件	(FC1)
		ノロウイルスG II.4+アストロウイルス	1 件	(FC1)
		ノロウイルスG II.4+アデノウイルス3型	1 件	(FC1)
		ノロウイルスG II.4+エコーウイルス6型	1 件	(FC1)
		ノロウイルスG II.6+コクサッキーウイルスA5型	1 件	(FC1)
		ノロウイルスG II.6+コクサッキーウイルスB4型	1 件	(FC1)
アデノウイルス2型+コクサッキーウイルスB5型	1 件	(FC1)		
手足口病	3, 5~7, 9~12月	コクサッキーウイルスA6型	12 件	(NP9,FC2,EX1)
		コクサッキーウイルスA10型	3 件	(NP3)
		コクサッキーウイルスA4型	1 件	(NP1)
		コクサッキーウイルスA16型	1 件	(NP1)
		エコーウイルス9型	1 件	(NP1)
		エンテロウイルス71型	1 件	(NP1)
ヘルパンギーナ	1~3, 5~7, 9~12月	コクサッキーウイルスA4型	7 件	(NP7)
		コクサッキーウイルスA10型	7 件	(NP7)
		コクサッキーウイルスB5型	3 件	(NP3)
		コクサッキーウイルスA5型	2 件	(NP2)
		コクサッキーウイルスA6型	1 件	(NP1)
		ライノウイルス	1 件	(NP1)
流行性耳下腺炎	3, 4, 6月	ムンプスウイルス	1 件	(NP1)
無菌性髄膜炎	4~12月	コクサッキーウイルスB5型	4 件	(SF3,NP1)
		コクサッキーウイルスB2型	1 件	(SF1)
		エコーウイルス30型	1 件	(SF1)
流行性角結膜炎	2, 4, 5, 11月	アデノウイルス54型	2 件	(ES2)
その他の疾患	2,6~12月	パレコウイルス3型	1 件	(FC1)
		RSウイルス	1 件	(NP1)
		コクサッキーウイルスA6型	1 件	(NP1)
		アデノウイルス3型+コクサッキーウイルスA5型	1 件	(NP1)
陽性検体数			321 件	

\*福岡市及び北九州市を除いた福岡県内の市町村

\*\*FC: 糞便, NP: 咽頭ぬぐい液, SF: 髄液, ES: 結膜ぬぐい液, UR: 尿, EX: 水疱内容液